

ごあいさつ

第20回日本シーティング・シンポジウム開催にあたって

大会長

岩谷 清一（医療法人社団心愛会 TOWN 訪問診療所）



節目となる第20回日本シーティング・シンポジウムを、2025年11月23日（日）・24日（月・祝）の2日間、八王子市学園都市センターにて開催できることを、心よりうれしく思います。開催に向けてご尽力くださった実行委員会の皆さま、ご支援・ご協力をいただいている関係各位に、厚く御礼申し上げます。

今回のテーマは「Challenge! 暮らしを彩るシーティング～未来へ紡ぐコラボレーション～」です。シーティングは、単に姿勢を整える技術ではなく、その人らしい暮らしを支える基盤であり、日常に彩りを添える支援技術です。そして、この実践は誰か一人の力や一つの専門職だけでは成し遂げられません。ご利用者・ご家族・支援者が共通の目標を持ち、信頼関係を築きながら、それぞれの専門性を活かして協働する——この「コラボレーション」こそが成果を生み出します。

本大会では、シーティングに関係の深い「褥瘡」「移乗」「移動」に加え、普及と発展に欠かせない「教育のあり方」に焦点を当てます。特別講演では、TOWN 訪問診療所理事長で形成外科医の木下幹雄先生に、在宅での褥瘡治療とフットケアの実践についてご講演いただきます。教育講演では、日本ノーリフト協会代表理事で看護師の保田淳子先生に持ち上げない移乗介護による、安全で安楽な移乗ケアと腰痛予防について（市民公開講座としても開催）、金沢工業大学情報デザイン学部教授の土橋喜人先生に日本の交通バリアフリーの現状と国際比較についてお話しいたします。シンポジウムでは、日本作業療法士協会副会長の大庭潤平先生と神奈川県リハビリテーション病院作業療法士の松本琢磨先生らが、作業療法士の卒前・卒後教育と姿勢・移乗・移動の支援について討論します。また、市立奈良病院形成外科医の久徳茂雄先生、東京車いすテニス協会の富樫剛会長らにより坐骨部褥瘡の対策について議論します。さらに、接触圧測定器を用いた測定や電動車椅子の操作を体験できるハンズオンセミナー、口述・ポスター・困難事例の発表、当協会各局セッション、企業セミナー、企業展示、臨床&研究相談コーナー、シーティング図書館など多様な学びと交流の場をご用意しています。

開催地の八王子市は、自然と都市機能が調和し、教育・文化・福祉の活動が盛んな地域です。私にとって愛着のあるこの地で、多様な人々が集い、学び合い、未来への一步を踏み出せることを楽しみにしています。

シーティングに関心のある皆さま、多職種で実践に携わる皆さま、そして市民の皆さま——。共感と協力のもと、「暮らしを彩るシーティング」という共同作品をともに紡ぎ、誰もが“その人らしい暮らし”を実現できる未来をともに創っていきましょう。皆さまのご参加と、豊かな出会いを心よりお待ちしております。